I－1－(3)－①研究成果の発信と還元による産業活性化への貢献

（23）研究成果の発信・還元

Ⅲ－1　財務内容の改善

（56）自己収入の確保

資料4　①

■国内特許出願数

　

　○他の公立大学との比較

（文部科学省調査「大学等における産学連携等実施状況　特許関係実績」より）

　

　本学の全体順位は、H25：14位、H26：17位、H27：17位、H28：14位

公立大学の順位は、H25年以降1位。

■外部資金獲得額

○目標金額の設定

本学は大型の補助金や受託研究によって、平成26年度まで外部資金30億円を獲得していたため、第3期中期計画において目標を30億円に設定した。

平成29年度においては、教員一人当たりの外部資金獲得件数は昨年度からほぼ維持、一人当たりの獲得金額は減少している。教員数が昨年度646名から631名に減少していることもあり、外部資金獲得額が目標を下回った。

○外部資金獲得のための取組

　　外部資金獲得件数の増加、獲得金額の大型化のため、科研費特定支援事業（Step Up事業）やキープロジェクト事業、各部局での独自インセンティブ事業、科研費セミナーなどを実施している。

　　平成29年度については、基盤研究Sへ6件応募したものの採択がなかったなど、大型の外部資金の獲得が減少している。

＜参考＞

○過年度の科研費新規申請・採択の実績

　（日本学術振興会「研究者が所属する研究機関別　採択件数・配分額一覧」より）



○平成30年度の外部資金獲得状況

　・科研費（基盤研究S）　辰巳砂昌弘教授

　　30年度：102百万円

　　総額：186百万円（H30～H35）

　基盤研究S については、2011年度以来の採択。

・科研費（新学術領域研究・計画研究）　大西利和教授

　　30年度：89百万円

　　総額：300百万円（H30～H35）